

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

- 本澤 徹(いばらき自民党)
- 長谷川 修平(民進党)
- 長谷川 重幸(いばらき自民党)
- 飯田 智男(自民県政クラブ)
- 田口 伸一(いばらき自民党)
- 石井 邦一(いばらき自民党)
- 戸井田 和之(無所属)
- 山中 たい子(日本共産党)
- 八島 功男(公明党)
- 石田 進(いばらき自民党)

み合わせによる機能的な体制構築を図り、効率的な行政運営に努める。また、臨時・非常勤職員の雇用期間は法令などに基づき定めているが、国における働き方改革の動向を注視し、県としても処遇の改善に努めていく。

(ほかに、十八歳選挙権導入に伴う高校生の政治活動、県北振興なども質問)

長谷川重幸委員(自民) 農業の分野においても、北関東三県で有効に連携を取り、お互いに農業の振興に共同で取り組むべきであるが、今後どのように取り組んで行くのか。

農林水産部長 平成二十七年は本県で農産物の輸出に係る鮮度保持実証試験を栃木県、群馬県とともに実施した。二十八年度は試験結果を踏まえた各種検証を行う際に、両県に呼び掛けるとともに、両県の事業にも参加していく。また、農産物の輸出以外でも、技術開発に関する会議の開催や稲の病害虫対策などに共同で取り組んでおり、今後とも、積極的に連携していく。

(ほかに、T P Pの対応策、伝統文化の継承・発展なども質問)

飯田智男委員(自民) 自主防災組織や県民一人一人の自助の強化に向けて、多くの県民が防災士の資格を取得すべきである。今後、防災士資格の普及啓発や資格取得者の増加を目指して、県としてどう取り組むのか。

生活環境部長 本県の平成二十八年二月末現在の防災士登録数は二千二百七十五人と少ない状況にあることから、県の広報誌やホームページなどを活用して防災士の重要性を周知するほか、地域防災のリーダーを養成する、いばらき防災大学の定員や開催場所の増加により受講者の拡大を図るなど、防災士の資格取得者の増加に努める。

(ほかに、自主防災組織の結成促進、住民への防災情報の発信なども質問)

田口伸一委員(自民) 動物愛護の推進には、愛護施設の整備や譲渡事業の拡充などの「出口対策」の充実もさることながら、「入口対策」としての県民の意識改革が最も重要である。動物愛護の「入口対策」に関する所見は。

保健福祉部長 生涯にわたって犬猫を飼い続けることが重要である。犬猫の販売業者には適正飼育について購入者への説明責任を果たすよう、譲渡を受けの方および多頭飼育者には適正飼育に向けて指導していく。また、県民の意識改革のため、市町村、関係団体および動物愛護のボランティアの協力を得ながら啓発活動に取り組んでいく。

(ほかに、米の需給バランスと今後の米政策、水田の基盤整備なども質問)

石井邦一委員(自民) 人口減少は待ったなしの状況であり、早急に有効な手段を取らなければならないが、そのためには、どこに問題点があるのか、地域の実態をしっかりと把握し、その上で対策を講じていくべきと考えるが、どう取り組んでいくのか。

知事 平成二十八年度は、人口減少などが著しい地域を選定し、買物環境、医療などの現状や不便に感じていることなど、生活環境に関する実態調査を実施することとしており、この結果を基に必要なサービスの効果的な組み合わせや官民の役割分担、事業の採算性など施策の具体化に向け検討していく。

(ほかに、F I T構想の推進、茨城県の伝統産業の活性化なども質問)

戸井田和之委員(無所属) 茨城空港へのアクセス道路として、常磐道の石岡小美玉スマートインターチェンジと空港を結ぶ道路が事業化されたが、今後の整備見通しは。

土木部長 昨年十一月以降、地元説明会や用地測量を行ってきたところであり、平成二十八年度から用地買収に着手したいと考えている。首都圏にお

て大幅な増加が予測される国際線の航空需要を取り込むためにも、できるだけ早期に開通させることが重要と認識しており、東京オリンピック・パラリンピックや茨城国体も見据え、スピード感を持って整備を進めていきたい。

(ほかに、道路の維持補修、信号機の新設なども質問)

山中たい子委員(共産) 太陽光発電については、自然や景観を壊すとともに、住民の安全にも関わる重大問題になっている。本県ではガイドラインを策定する方針だが、景観、観光、生活環境への配慮や地元への説明と同意を得ることも重要と考えるが、所見は。

知事 一ヘクタール以下の小規模な施設や法律上の許認可を必要としない施設にも対応できる県独自のガイドラインを策定する予定である。立地を避けるべきエリアなどの指定や地元住民への説明の実施、安全な施工管理など、景観や観光面、防災などさまざまな問題に対応できるものとしていきたい。

(ほかに、小中一貫教育、豪雨災害対策と支援策なども質問)

八島功男委員(公明) 積立基金や歳計現金を一体的にまとめるなどして、金額の増加によるスケールメリットを生かし、資金運用の多様化を図るべきと考えるが、運用先の多様化について今後どのように進めていくのか。

総務部長 預金については、引き合いに参加する金融機関の範囲や預金枠の拡大を検討する。また、積立基金の債券運用における毎年度の買い増しのペースを上げることについても検討するほか、新しい資金運用の方法についても他県の先進事例などを参考に検討し、運用先の多様化を図っていく。

(ほかに、ワーク・ライフ・バランスと働き方の改革、マイナンバーと行政事務における活用も質問)

石田進委員(自民) 不登校児童・生徒への対応として、コミュニケーション能力の向上などに寄与するスポーツは大変重要と考える。スポーツを通して児童の人的基礎づくりの機会を積極的につくるべきと考えるが、所見は。

教育長 スポーツを通じた他者との人間関係の構築などは、不登校の未然防止にもつながると考える。今後は、小生が活躍できるだけでなく、スポーツに出会える機会を増やすため、県体育協会などと連携を深め、スポーツ少年団の活動を積極的に支援するとともに、学校体育の一層の充実も図っていく。

(ほかに、選挙権年齢引き下げを踏まえた高等学校と後援会などの関わり方、水産業における輸出促進なども質問)

お知らせ

次回の、平成28年第2回定例会は、6月6日から21日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議 事 予 定
6.6	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
7	火	休会(議案調査)
8	水	休会(議案調査)
9	木	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
10	金	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
11	土	
12	日	
13	月	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑、 議案常任委員会付託)
14	火	休会(委員会審査準備)
15	水	休会(常任委員会)
16	木	休会(常任委員会)
17	金	休会(大規模災害対策調査特別委員会)
18	土	
19	日	
20	月	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
21	火	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

【自主防災組織】…自分たちの地域で、自分たちでできる防災活動を行うために結成される組織。
 【防災士】…N P O法人日本防災士機構が認証する民間資格であり、社会のさまざまな場で、被災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識や知識などを有する者。
 【歳計現金】…県の歳入歳出に属する現金のこと。